

人のために豊かさや便利さを提供する土木を、生活のなかに浸透させていくこと。
「DOBOKU×カルチャー」では、私たちと土木の距離を縮めてくれる、そんなコンテンツを紹介します。

第九回

『マニアパレル』



ダム、団地、工場と、土木やインフラをモチーフにしたTシャツや手ぬぐいなどをオリジナルでデザインし販売しているブランド「マニアパレル」。デザインも発想もマニアックなら、マニアたちが絶対欲しがりそうなニッチなポイントを押さえた商品が揃っている。マニアが作ってマニアが買うから「マニアパレル」ということか。

この、略して「マニアパ」を営むのはBAD_ON(バドン)さん。本業は建設業と無関係の会社員だが、趣味の活動としてさまざまな商品を作り続けてきた。足尾銅山の廃墟で見つけたものと同じ「毒」というラベルを付けたアルミボトル、「ダム巡ってます」というステッカー、「FANAWIP」というダムの用途別表示をプリントしたタオルやTシャツ、テトラポッドや橋脚のスタンプ、ダムのマスキングテープ、団地柄や給水塔柄の手ぬぐいなど土木好きだったらついつい欲しくなってしまうものばかり。

BAD_ONさんはマニアパの活動を始めて今年で一三年目。Tシャツだけでなく、今年で一〇〇種類は作ったという。「自分が着て注目を浴びたいんだけど、『誰か一緒にこの企画に乗ってくれる人いませんか』というのが基本姿勢です」と、マニアパTシャツのコンセプトを語る。今までで一番売れたTシャツのデザインは、意外にも、地方のドライブインなどにかろうじて残る「うどんそば」の自動販売機のロゴをプリントしたデザイン。土木ものでの一



今回お話を伺ったマニアパレル代表のBAD_ON氏

番人気はガントリークレーン柄だった。最初にダムTシャツを作った時は商品とする意図はなく、ダムに関するトークイベントで登壇者全員が着るために作成。余った何枚かを会場で販売したところ売り切れるほどの人気で、追加で作って通販することに。

その人気の秘密をBAD_ONさんは「身につけることで、マニアとしての連帯感や自己アピールを表現できるんじゃない」と語る。そして、なるべく街着として着て違和感のないデザインを目指しているとのこと。

手ぬぐいだと連続模様のデザインができるので、団地が南面配置でひたすら並んでいたりと、給水塔やガスタンクなど新たなデザインの世界が開けた。子どもの頃からスケールの大きな土木構造物や工事現場が好きだったが、バイクのツーリングの途中、偶然に群馬県の奈良俣ダムに出会ってその巨大な岩壁に圧倒され、体内に宿っていた土木萌えの素質がいきなり最高位に到達。その後、団地をテーマにしたトーク



右ページ／土木柄の手ぬぐいもマニアパレルの人気商品。団地や給水塔の連続柄のほか、ダム竣工時に行なわれる「ダム万歳」のマニュアルを描いたものも。

上／テトラポッドのぬいぐるみ「テトぐるみ」は12センチ、25センチ、38センチの3サイズ、打ち立てのコンクリートと経年変化したコンクリートの2色がある。
下／BAD_ONさんが初めて作り、ダムマニアイベントの登壇者たちが着用したTシャツ。コンピュータ会社のロゴをパロディ化した。マニアパレルの商品第一号となった記念すべきデザイン。



イベントに登壇者として参加したところ、団地愛を語ると客席が沸いた。それまで団地が好きなんて感性は誰にも通じないと思っていたが、こんなに受け入れてくれる人がいると感動した。ちようどマニアパレル創業前後から、ダム、工場、団地、国道など次々と土木、インフラ関連ジャンルを愛好する趣味が世間一般でも盛り上がるようになり、関連書籍やDVDなども次々に発売され、イベントなども行なわれるようになってきた。

「マニアパの活動は基本的に土木ネタがメイン。ぼくは土木とインダストリアルとインフラなど、目的のためにデザインされたものが好き。そういうものがカッコいい、かわいいと信じていて、それに共感してくれる人がいることがうれしい」
着想を得たら自らデザインし、作ってくれる業者を探して作成。Tシャツなどは最小ロットが二〇枚の受注生産制となっているが、手ぬぐい、マスキングテープなどは最小ロットで作っても膨大な数となり、初期投資もかなりの額となる。

「日暮里の布問屋に何度も通ったあげく、工業用フェルトというすごく薄いけれどハリのある素材を見つけて。これだとコンクリート製のシャープな感じが再現できる。ぬいぐるみ工場も探して、一〇〇個で作ってくれ

た。その後完成までは山あり谷ありの道のりだ。
「日暮里の布問屋に何度も通ったあげく、工業用フェルトというすごく薄いけれどハリのある素材を見つけて。これだとコンクリート製のシャープな感じが再現できる。ぬいぐるみ工場も探して、一〇〇個で作ってくれ



相模ダムにあるマンホールの柄をプリントしたアルミボトル。このマンホール蓋はその業界の大手メーカー・長島鋳物が作成しているものだが、グッズにそのデザインを使用したいと許可を求めたところ、意気に感じてくれたのか、長島鋳物がデザイナーデータを提供してくれたとか。マニアパレルには、このようにBAD_ONさんの土木愛に共鳴してくれた協力者により実現したデザインが数多く存在している。

マニアパレル maniapparel®
**mani
apparel**

最新情報はWebサイトで！
マニアパレル | maniapparel
<http://blog.livedoor.jp/r2koba/>
Twitter : @BAD_ON

マニアパの看板商品とも言えるものに消波ブロックのぬいぐるみ「テトぐるみ」がある。これを発想したのは消波ブロックをどうやってたら部屋の中に置けるかということから。クッションにしてソファアアの上にたくさん置いたらその風景が部屋の中にできるということ、それを実現してしまった。
そんなプロジェクトを実行するべく、消波ブロックの製造会社へ電話をし、自らの「テトラ愛」を延々と語ったところ「そこまで愛してくれるなら作っても良いですよ」ということになった。
常にも今作っているものがイチャオシ。一二年間続いたこのペースでこれからもマニアの心をくすぐってくれることだろう。